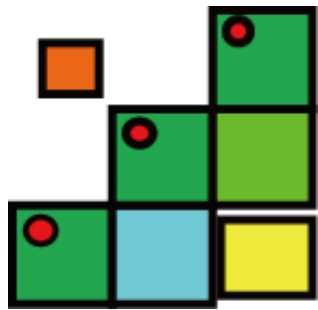




国臨協新潟地区会会報

朱鷺つと

2017年7月発行
第80号

発行者 : 山崎 正明(さいがた)
編集委員: 山崎 茂樹(西新潟中央)
館野 直道(新潟)
田辺 恵梨(さいがた)



【十日町市 美人林】

会長挨拶

『大愚ってなに?』

さいがた医療センター
山崎 正明



今回は、県内のみならず全国的にも有名な禅僧「良寛さん」についてのお話です。
良寛は今から約260年前の1758年に、出雲崎の名家に生まれました。俗名を山本栄蔵と言います。跡取り息子として大事に育てられましたが、少し変わった子で、結局、家を継がずに18歳で出家します。その後、22歳の時に“生涯の師”である国仙和尚が住職を勤める円通寺(岡山)に赴き、僧侶に。10年以上も厳しい修行を積んだ後、34歳で諸国行脚の旅へ。39歳で県内に戻りましたが定住せず、各地を転々として生活します。48歳から国上山(燕市)にある五合庵や、その麓にある乙子神社の草庵で約20年間を過ごします。当時の歌に「この子らと 手鞠付きつつ遊ぶ春 日はくれずともよし」があります。例の、近所の子供たちと無邪気に遊ぶ光景ですね。69歳の時、島崎(長岡市)の名家・木村家に移住し、1831年に74歳でその生涯を閉じます。

……やたら前置きが長くなりましたが、良寛の号(別名)は『大愚(だいぐ)』と言います。
この大愚ですが、“己を知って、身の丈を生きる”、ただただ自分の出来ることを行い、やりわり生きていけばそれでいい……の様なことだと私は勝手に解釈しています。

某HPには、無理に人と合わせて生きなくても良いですよ、「子供の純真な心こそが誠の仏の心」と載っています。

「災難に逢う時節には災難に逢うがよく候、死ぬる時節には死ぬがよく候、是はこれ災難をのがる妙法にて候」

ストレスだらけの世の中、他人を気にし過ぎず、飄々と生きたいなと思っています。

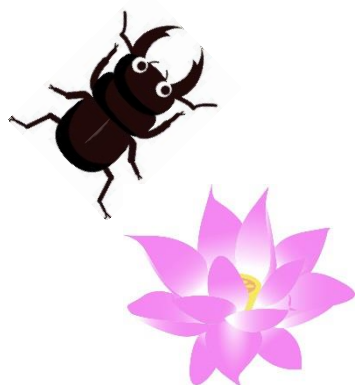
※諸説あります

異動者挨拶

転出者



東埼玉病院
技師長 渡辺 靖



この度、4月1日付で東埼玉病院に昇任で異動となりました。新潟地区会では4年間、大変お世話になりました。心より感謝致します。本来であれば、本年度は地区会副会長の役を仰せつかっておりましたが、全く何もすることなく新潟を去ることとなり、心苦しい気持ちではありますが、ご容赦ください。この4年間での思い出は、4年前の地区交流会の弥彦山登山（登ったと言っても9合目から頂上までしかないので、かなり苦しかった・・・）、昨年の笹団子作りと遊びばかりですが、会員の皆さんとの交流は楽しいものでありました。

さて、赴任地の東埼玉病院ですが、埼玉県東部の蓮田市にあり、「東京ドーム〇個分」と例えられそうなくらいの広大な敷地（森林の中にあると言っても過言ではない）を持つ施設です。病院の敷地入口から駐車場まで桜の大木が数十本もあり、開花時期の春先は「見事」という言葉がピッタリ当てはまる美しさでした。また、敷地内の林にカブト虫スポットがあるとのことで、これからの時期は別の楽しみが待っていそうです。日本海側の人間の持つ埼玉のイメージは、大宮周辺に代表される都会のイメージですが、大宮から3駅（10分）しか離れていないのにもかかわらず・・・（埼玉の認識が変わりました・笑）。そんな自然に囲まれた施設の診療内容ですが、呼吸器疾患、神経難病、重心と西新潟中央病院とかなり似ており、その点では、違和感なく異動することが出来ました。リウマチ科やリハビリテーション専門病棟といったところが西新潟とは違うところでしょうか。検査科に話を移すと技師数7名（内、非常勤1名）と少数ですが、スタッフの大部分は、複数部門を掛け持ちし、お互いにカバーをしながら業務を行っています。勤務して2か月、病院（検査科）の良いところ悪いところが、少しずつ見えてきましたが、改善すべきところは、あまり焦らずに、されどのんびりせず、バランスを取りながらやって行ければと考えております。

異動の挨拶というよりは、近況報告になってしまいましたが、新潟地区会の益々のご発展と皆様のご活躍を埼玉の地よりお祈りしています。また、学会などで皆様にお目に掛かれることを楽しみにしております。4年間、本当にお世話になりました。

転入者



西新潟中央病院
副技師長 山崎 茂樹



平成29年4月1日付で西新潟中央病院に副臨床検査技師長として配属された山崎と申します。東京以外の施設に配属になるのは初めてで更に単身赴任も初めての経験であります。内示以来、どのような生活になるか想像もつかぬまま、気持ちの整理もつかない状態で新潟入りをいたしました。新潟といえば冬には“鉛色の空”に気持ちも曇りがちになる場所と聞いております。しかし、新潟入りした日は晴れていてなんとなく幸先の良い予感がいたしました。実際に西新潟中央病院臨床検査科菅技師長をはじめ技師の方々には暖かく迎えて頂いたこと感謝しております。

西新潟中央病院は国立病院機構の中で業績優良である施設と聞いております。病院全体には穏やかな空気感があり、どこにその力を持ち合わせているのか？探りたいと思います。ただ、この2か月余りで感じたことは、新潟の人は人が良いということです。新潟県人すべてがそうではないと思いますが、県民性なのかなあ...と思っております。思い返せば国臨協で出会った新潟出身の方々はみんな穏やかで性格の良い人ばかりだったような気がします。

さて、西新潟中央病院臨床検査科で私にできることは今までの経験を活かし、ここに足りないところを補っていくことだと思っております。特にISO 15189認定の要求事項に準じた検査科の構築等が重要課題だと考えます。まだ、この施設に赴任して数か月ですが、いろいろなことが見えてきています。施設事情を考えると、できることとできないことがあると思いますが、いろいろと慣れないうちに感じたことが、ここでやらなければいけないことだと思えます。今、感じていることを忘れないうちに行動に移さなければ何も出来ないままになってしまいそうな気がします。

今後は検査科の仲間に信頼されるように、協力してもらえるように真摯に業務に取り組み、検査科みんなとコミュニケーションをとりながら、施設にとって必要な存在となるような組織構築を目指したいと考えております。

新潟で私に与えられた時間がどれくらいあるのかわかりませんが、少しでも西新潟中央病院のため、新潟地区会のためになるように努力していく所存でございますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

新採用者



西新潟中央病院
技師 高橋 美保



この度、4月1日から非常勤職員として西新潟中央病院に採用となりました高橋美保です。よろしくお願いします。

私は昨年春に息子が生まれました。毎日が初めての事ばかりであつという間でした。朝はBSで放送しているアンパンマンのサンサン体操からはじまり、午前中は支援センターで遊び、午後からは息子と一緒に昼寝、夜は夜泣きと格闘。気付いたら寝返り、お座り、ハイハイ、一人歩き...息子の成長をスマホ片手に写真を撮りながら、可愛いってニヤけて親バカしていました。

現在は週末になると県内外問わず、ドライブしながら公園や遊べる施設、イベント巡りをしています。午前中は全力で遊んで、お昼ご飯を食べて午後からはお昼寝。息子が寝ている間に家事をすればいいのですが、一緒に寝てしまい起きてから毎回後悔をしています。

約1年ぶりの仕事復帰となり、不安でいっぱいでしたが、検査科の皆様に温かく迎えていただき感謝しています。以前、勤めていた病院では生理検査を主に行っていました。西新潟中央病院でも生理検査をさせていただくことになり、現在は腹部エコーを勉強中です。

入職して感じたことは、てんかんの専門病院という事もあり、脳波をしていると見た事もない波形が一週間でこんなにも経験できるのかという驚きでした。今までマニュアル通りに記録をしていた私は知識不足を痛感しました。1日でも早く自信をもって働けるように、初心にかえり、先輩達のように向上心を忘れず頑張りたいと思います。そして、常に目標を持って働いていきたいと思います。

最後になりますが、新潟地区会の皆様、地区会に入会させていただきありがとうございます。西新潟中央病院のため、新潟地区会のために頑張りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

育休復帰



新潟病院
技師 玉井 真紀



新潟地区会の皆様、どうもご無沙汰しております。(初めましての方のほうが多いでしょうか...?)四月に育児休業より復帰致しました、新潟病院の玉井真紀です。約一年間、三度目の育児休業を頂き、子供の成長をじっくりと見守りながら充実した毎日を過ごすことができました。おかげ様で娘は三月で一歳を迎え、元気に成長しております。最近では言葉も出はじめ、「おかーかん(おかーさん)」と言うようになり子供の成長の速さを感じます。新潟病院検査科をはじめ皆様には多大なるご理解とご協力を頂き心から感謝致します。

復帰して間もない頃、ある筋ジストロフィーの患者様に検査のため久しぶりにお会いしました。患者様に「玉井さんはこの仕事に就いて何年ですか？僕が学生の頃からですね。いつも検査してもらい助かります。」というお言葉を頂きました。私自身なかなか仕事のペースがつかめず落ち込んでいる時であったため、とても感激うれしく思いました。今年で検査技師になり十七年目に突入しました。これからも患者様のために努力を惜まず、いい仕事ができるように過ごしていきたいと改めて思いました。

復帰してから間もなく四ヶ月を迎えます。仕事と家庭の両立はやはり大変というのが正直なところですが、一日二十四時間では足りないくらいですが、何とか過ごすことができるのも齋間技師長をはじめ検査科スタッフの皆様のおかげと思っています。これからまた新潟地区会の皆様にはお世話になりますが、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



新潟地区会 交流会

ボランティアガイドと巡る歴史と醸造のまち

『長岡 摂田屋』観光 & ビアパーティー



今回の地区交流会は新潟病院主催のもと、
長岡市で行われました。
ボランティアのガイドさんと共に宮内駅から出
発し、普段は見られない長岡の街並みを見学
した後、ビアホールにて交流を深めました。
10:00～15:00までと短い時間の中とても楽し
いひと時を過ごせました！



ここからスタート！
天気は曇っている
けど歩くには快適
♪♪♪



街並みを楽しみワイワイ☆☆



街並み探求中



楽しいお買い物 ♪





酒蔵 瓢亭
お酒の歴史を聞きつつ
美味しいお酒に舌鼓♪
もととなる天下甘露泉のお水
おいしさと飲みやすさが違う！



これが噂の煮たまごパン！！

続いて、品田さんの実家 行列のできるパン屋さん…



絶品でした☆



最後はお待ちかね
BADEN-BADEN



とても楽しかった(^~♪

【ボランティア募集】

エコノミークラス症候群フォローアップ検診

○主 催:エコノミークラス症候群予防検診支援会
(会長:榛沢 和彦、新潟大学大学院呼吸循環外科)

○内 容:下肢静脈エコー検査、採血、案内、受付など

○備 考:昼食・交通費支給。

新臨技会員に限り日当支給あり。

○連絡先:NHO新潟病院・検査科 品田さん

TEL 0257-22-7638 (生理検査室直通)

① 7月15日(土)・16日(日)10:00~15:30 NHO新潟病院

② 11月5日(日)、十日町市

③ 12月2日(土)・3日(日)、小千谷市

今後の活動予定

*関信支部学会
地区会ポスター作成

*10月 第81号『朱鷺っと』発行

*10月 第3回 理事会開催

*10月14日 定期総会・研修会
担当:新潟病院



編集後記

2017年下半年期がスタートしました。
振り返ると、あっという間に6ヶ月が過ぎ
去った感があります。今年の梅雨は記録
的な大雨に見舞われています。
また今年の夏は平年より猛暑との予報も
出ています。会員の皆様十分な暑さ対策
をして、夏を乗り切りましょう。
そして夏休みをエンジョイしましょう。(N.T)

新潟地区会事務局

NHO新潟病院 臨床検査科内

TEL:0257-22-2126 (内線3350)